

**編集 後記**

日本公衆衛生雑誌第53巻第5号をお届けします。本号では、総説1編、原著1編、公衆衛生活動1編、資料1編、委員会報告1編を掲載しております。内容は、定量的研究と定性的研究の評価基準について論じたもの、地域高齢者を対象に健康習慣、生活習慣と死亡の関係を分析したもの、高齢転居者の孤立さらには「閉じこもり」の予防を目指す支援プログラムに関する活動報告、一都市における人口に対する脳卒中入院患者率とその病型割合の実態と動向を調べたもの、そして、禁煙に関するガイドラインの報告となっております。研究の方法論に関係する話題から、公衆衛生的・予防医学的な活動そのものに関する話題まで、いつものように幅広い内容となっております。

編集委員会では、査読を迅速に進める努力を続けておりますが、それを妨げるものの一つに、制限頁数を越える論文があります。投稿規定には、原稿の種類により制限頁数が決められています。ところが、投稿論文の中には、ときにこの制限を大きく超えたものがみられます。このような論文は、原則として、最初に長さを規定に合わせるようお願いし、その修正がなされたうえで内容の検討となります。そのため、著者とのやり取りが増え、結局、査読に要する期間が長くなってしまいます。豊富なデータ、多様な考察などがある場合に、制限内に分量を抑えるのが難しい場合がありますが、規定の長さに収めることも論文執筆の重要なポイントです。投稿論文を作成する場合には、規定の制限頁数にも十分に配慮していただきたいと思います。(新野直明)

## 6号予告(第53巻・第6号)

## 原 著

全国高齢者における健康状態別余命の推計、とくに咀嚼能力との関連について……那須郁夫, 他

## 資 料

某インターネットセルフヘルプグループの現状調査……片山佳代子, 他

神戸市におけるC型肝炎対策

フィブリノゲン製剤納入先医療機関名の公表に際して……渋谷雄平, 他

三重県における介護保険データを用いた健康余命の算定……大熊和行, 他

愛媛県の東部地域に発生した成人麻疹流行の分析……富田直明

## 生涯学習・研修委員会からのお知らせ

第2回アジア・太平洋循環器病予防セミナー及び  
第19回日本循環器病予防セミナーのお知らせ

1. 趣 旨：日本循環器管理研究協議会では、「日本循環器病予防セミナー（Five Day Seminar）」を過去20年にわたって企画・推進して参りました。今回、第2回アジア・太平洋循環器病予防セミナーを兼ねて下記の要領でセミナー受講生を募集します。
2. 講師・受講生：1)講師24名（日本17名、米国3名、WHO2名、韓国1名、タイ1名、中国1名）  
2)受講生40名（日本人とともに留学生の多数ご参加をお待ちしています）。
3. 期 日：平成18年10月20日（金）～23日（月）
4. 場 所：〒811-2501 福岡県粕屋郡久山町大字久原1822-1  
久山町ヘルスC & C センター及びレイクサイド・ホテル久山
5. 主 催：社団法人日本循環器管理研究協議会 財団法人日本心臓財団
6. 後 援：日本公衆衛生学会，中間法人久山生活習慣病研究所，財団法人木村記念循環器財団，日本医師会，日本循環器学会，日本疫学会，久山町，福岡県，福岡県医師会，ほか。
7. セミナーの内容：英語，講義内容は循環器疾患の疫学・予防全般
8. 受講料：セミナー費用，食事代（3食）込みで日本人4万円，留学生3万円
9. 受講申し込み：所定の申し込み用紙にて7月31日まで事務局に申し込んで下さい。
10. 事務局（申し込み・問い合わせ）：  
九州大学医学部保健学科 樗木（ちしゃき）晶子教授，  
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1，  
Tel & Fax 092-642-6713，E-mail; aki@shs.kyushu-u.ac.jp
11. 組 織：組織委員長 上島弘嗣（日本循環器管理研究協議会理事長）  
実行委員長 上田一雄（医療法人杏林会村上記念病院病院長）